

1973 年 春休み帰省旅行②～中国地方の旅

1973 年 2 月 22 日(木)～25 日(日)

【1973 年 2 月 22 日(木)】

(1) 福知山線、山陰本線(福知山～松江)

京都の友人の下宿に 1 泊し、翌日は大阪の伯父の家にも 1 泊し、今日是大阪から出発です。大阪を 9 時 50 分発の福知山線經由の急行「だいせん 1 号」で鳥取に向かいました。

福知山線は尼崎と福知山間を結ぶ路線で、当時は宝塚から三田までのトンネルの多い新線が開通していなかったため、武庫川の溪谷沿いを走る車窓風景に感激しました。何十年も経って新線が開通したこと

福知山線のダイヤ

急行だいせん 1 号		
大 阪	9:50	
尼 崎	↓	
塚 口	↓	
伊 丹	↓	
北 伊 丹	↓	
川 西 池 田	↓	
中 山 寺	↓	
宝 塚	10:18	
生 瀬	↓	
武 田 尾	↓	
道 場	↓	
三 田	10:42	
広 野	↓	
相 野	↓	
藍 本	↓	
草 野	↓	
古 市	↓	
南 矢 代	↓	
篠 山 口	11:07	
丹 波 大 山	↓	
下 滝	↓	
谷 川	11:24	
柏 原	11:33	
石 生	↓	
黒 井	↓	
市 島	↓	
丹 波 竹 田	↓	
福 知 山	11:58	

を知らずに福知山線

に乗車した時、車窓風景の違いに少しがっかりした記憶があります。違う路線に乗ったような気がして自分の記憶違いかと思ったくらいでした。

福知山には 11 時 58 分に到着し、この時点で福知山線は全線乗車しました。その後、新線区間も乗車したので新旧両方を乗車しました。福知山を 12 時 03 分に出発し、鳥取には 14 時 43 分に到着しました。その途中に有名な余部鉄橋も通過していますが、そのことは記憶に残っていません。

鳥取での約 2 時間の

<1973 年 2 月 22 日>

○大阪

| 9:50 発
| 福知山線 (急行)だいせん 1 号
| [大社・益田・長門市行] 2 時間 08 分
| 11:58 着

○福知山

| 12:03 発
| 山陰本線 (急行)だいせん 1 号
| [大社・益田・長門市行] 2 時間 40 分
| 14:43 着

○鳥取

| 16:58 発
| 山陰本線 (急行)大社
| [米子・大社行] 2 時間 11 分
| 19:09 着

○松江

山陰本線のダイヤ

急行だいせん 1 号	
福 知 山	12:03
上 川 口	↓
下 夜 久 野	12:21
上 夜 久 野	↓
梁 瀬	↓
和 田 山	12:39
養 父	↓
八 鹿	12:50
江 原	12:58
国 府	↓
豊 岡	13:09
玄 武 洞	↓
城 崎	13:18
竹 野	↓
佐 津	↓
柴 山	↓
香 住	13:45
鎧	↓
餘 部	↓
久 谷	↓
浜 坂	14:07
諸 寄	↓
居 組	↓
東 浜	↓
岩 美	14:23
大 岩	↓
福 部	↓
鳥 取	14:43

山陰本線のダイヤ

急行 大社		
鳥 取	16:58	
湖 山	↓	
末 恒	↓	
宝 木	↓	
浜 村	17:15	
青 谷	↓	
泊	↓	
松 崎	17:32	
倉 吉	17:38	
下 北 条	↓	
由 良	↓	
浦 安	17:52	
八 橋	↓	
赤 碕	↓	
中 山 口	↓	
下 市	↓	
御 来 屋	↓	
名 和	↓	
大 山 口	↓	
淀 江	18:21	
伯 耆 大 山	↓	
米 子	18:36	
安 来	18:46	
荒 島	↓	
揖 屋	↓	
馬 潟	↓	
松 江	19:09	

列車待ちの間に鳥取砂丘を見に行きましたが、その時の写真には全く人が写っていませんでした。たまたま、その日は観光客が少なかったのかもしれませんが。砂丘観光を終え、鳥取を 16 時 58 分発の急行「大社」に乗り、松江に 19 時 09 分に到着しました。松江で宿泊したのは、日本育英会の奨学生手帳の巻末に書かれていた小さな旅館でしたが、場所や名前は全く記憶にありません。

【1973 年 2 月 23 日(金)】

(2) 山陰本線 (松江～出雲市)、大社線、木次線(宍道～木次)

この日は朝のうちに松江城と小泉八雲記念館を見学しており、松江城の写真と記念館のスタンプが残っていました。その後、松江を 9 時 20 分発の列車で出雲市に 10 時 05 分に着き、11 時 22 分の大社線に乗って 11 時 36 分に大社に到着しました。大社線は出雲市と大社を結ぶ 7.5 km で 4 駅しかない短い路線でしたが、1990 年に廃止されています。

出雲大社に参拝し、12 時 54 分の列車で出雲市に戻り、松江に 15 時 13 分に到着しました。その時、どこかの駅で撮影した貨物列車を牽引する S L の写真が残っていましたが、どこの駅で撮影したものかは不明です。

松江から広島に行くため、15 時 54 分発の列車に乗り木次に 17 時 07 分に到着し、夜中に到着する広島行きの急行「ちどり」を待つことにしました。

木次駅前の食堂で夕食を食べ、駅のベンチで横になって列車を待っていましたが、松江市内に居て急行の始発に乗った方が良かったのかもしれません。



<1973 年 2 月 23 日>

○松江
 | 9:20 発
 | 山陰本線(普通)[出雲市行]45 分
 | 10:05 着
 ○出雲市
 | 11:22 発
 | 大社線(普通)[大社行]14 分
 | 11:36 着
 ○大社
 | 12:54 発
 | 大社線(普通)[出雲市行]13 分
 | 13:07 着
 ○出雲市
 | 14:05 発
 | 山陰本線(普通)[福知山行]1 時間 08 分
 | 15:13 着
 ○松江
 | 15:54 発
 | 木次線(普通)[木次行]4 時間 35 分
 | 17:07 着
 ○木次

山陰本線のダイヤ

	249D
松 江	9:20
乃 木	9:24
玉造温泉	9:29
来 待	9:36
宍 道	9:44
莊 原	9:52
直 江	9:59
出 雲 市	10:05

大社線のダイヤ

	137D
出 雲 市	11:22
出雲高松	11:27
荒 茅	11:31
大 社	11:36

木次線のダイヤ

	459D
山陰本線	松 江 15:54
	乃 木 15:59
	玉造温泉 16:04
	来 待 16:11
木次線	宍 道 16:19
	南 宍 道 16:26
	加 茂 中 16:40
	幡 屋 16:46
	出雲大東 16:53
	南 大 東 17:07
	木 次 17:07

【1973 年 2 月 24 日(土)】

(3) 木次線(木次～備後落合)、芸備線(備後落合～広島)

木次を 0 時 25 分発の広島行き急行「ちどり」に乗り、備後落合に 2 時 23 分に到着し、木次線は全線乗車です。備後落合から広島までは芸備線となり、第 2 部で 2020 年 2 月 27 日に芸備線の三次から備中神代まで乗車しましたが、この日の乗車区間と併せて芸備線は全線乗車となりました。



木次

<1973 年 2 月 24 日>

- 木次
 - | 0:25 発 木次線
 - | (急行)ちどり 3 号[広島行] 1 時間 58 分
 - | 2:23 着
- 備後落合
 - | 2:26 発 芸備線
 - | (急行)ちどり 3 号[広島行] 2 時間 34 分
 - | 5:00 着
- 広島

【1973 年 2 月 25 日(日)】

(4) 呉線(広島～仁方)、仁堀連絡船

<1973 年 2 月 25 日>

- 広島
 - | 12:59 発
 - | 呉線(普通)[三原行]1 時間 08 分
 - | 14:07 着
- 仁方
 - | 14:30 発
 - | 仁堀連絡船 5 便 [堀江行]2 時間 05 分
 - | 16:35 着
- 堀江
 - | 17:03 発
 - | 予讃線(普通)[八幡浜行] 23 分
 - | 17:26 着
- 松山

呉線のダイヤ

	3938M
広島	12:59
向洋	13:04
海田市	13:07
矢野	13:11
坂	13:15
小屋浦	13:21
天応	13:25
吉浦	13:31
川原石	13:35
呉	13:53
安芸阿賀	13:58
広	14:03
仁方	14:07

この日は広島を 12 時 59 分発の呉線に乗り、四国と中国地方を結ぶ 2 つの国鉄連絡船のうち、メインの宇高連絡船でない「仁堀連絡船」が就航する仁方で降り、14 時 30 分発の堀江丸で堀江港に渡りました。この連絡船も 1982 年に廃止され、もう乗ることはできません。堀江港から堀江まで歩き、8 日間の旅を終えて松山に到着しました。

木次線のダイヤ

急行 ちどり		
木次線	木次	0:25
	日登	↓
	下久野	↓
	出雲八代	↓
	出雲三成	1:00
	亀高	↓
	出雲横田	1:17
	八川	↓
	出雲坂根	1:47
	三井野原	2:02
芸備線	油木	↓
	備後落合	2:23
		2:26
	比婆山	↓
	備後西城	2:45
	平子	↓
	高	↓
	備後庄原	3:05
	備後三日市	↓
	七塚	↓
	山ノ内	↓
	下和知	↓
	塩町	↓
	神杉	↓
	八次	↓
	三次	3:50
	西三次	↓
	志和地	↓
	上川立	↓
	甲立	↓
	吉田口	↓
	向原	↓
	井原市	↓
	志和口	↓
	上三田	↓
	中三田	↓
	白木山	↓
	狩留家	↓
	上深川	↓
	中深川	↓
	下深川	↓
	玖村	↓
	安芸矢口	↓
	戸坂	↓
	矢賀	↓
	広島	5:00